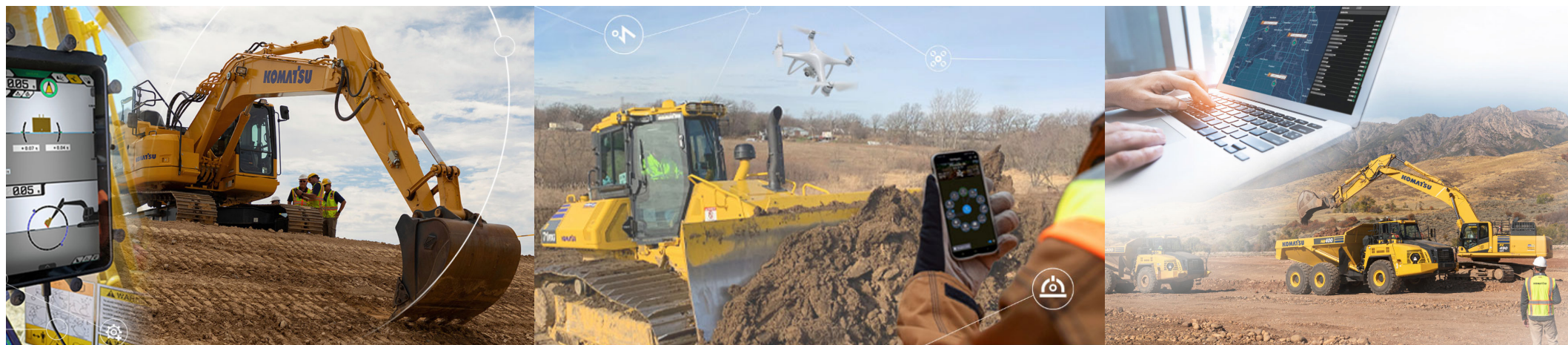


KOMATSU

【証券コード】6301

個人投資家向けWEBセミナー



成長戦略とESG課題解決への取り組み

コマツ

代表取締役社長 兼 CEO 小川 啓之

2023年8月4日（金）

1. コマツの概要
2. 中期経営計画
—成長戦略とESG課題解決—
3. 業績および株主還元について

1. コマツの概要

2. 中期経営計画

—成長戦略とESG課題解決—

3. 業績および株主還元について

創業者 竹内 明太郎（高知県宿毛市出身）の志

工業富國基

工業は国を富ませる基なり

人材育成こそが工業富國基の基本

➤ 鉱山機械開発のため小松鉄工所を設立（1917年）

➤ 1921年5月13日 株式会社小松製作所の誕生

創業の精神は、遺伝子として受け継がれる

～世界に通用する技術を生み出し、世界を相手に勝負する～



創業者 竹内 明太郎

◆品質第一

◆技術革新

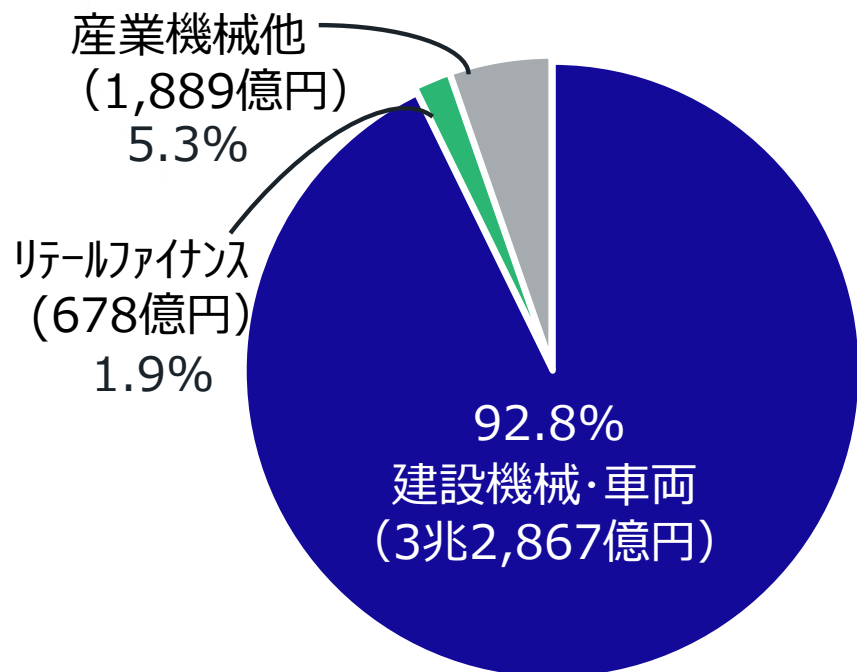
◆海外への雄飛

◆人材育成

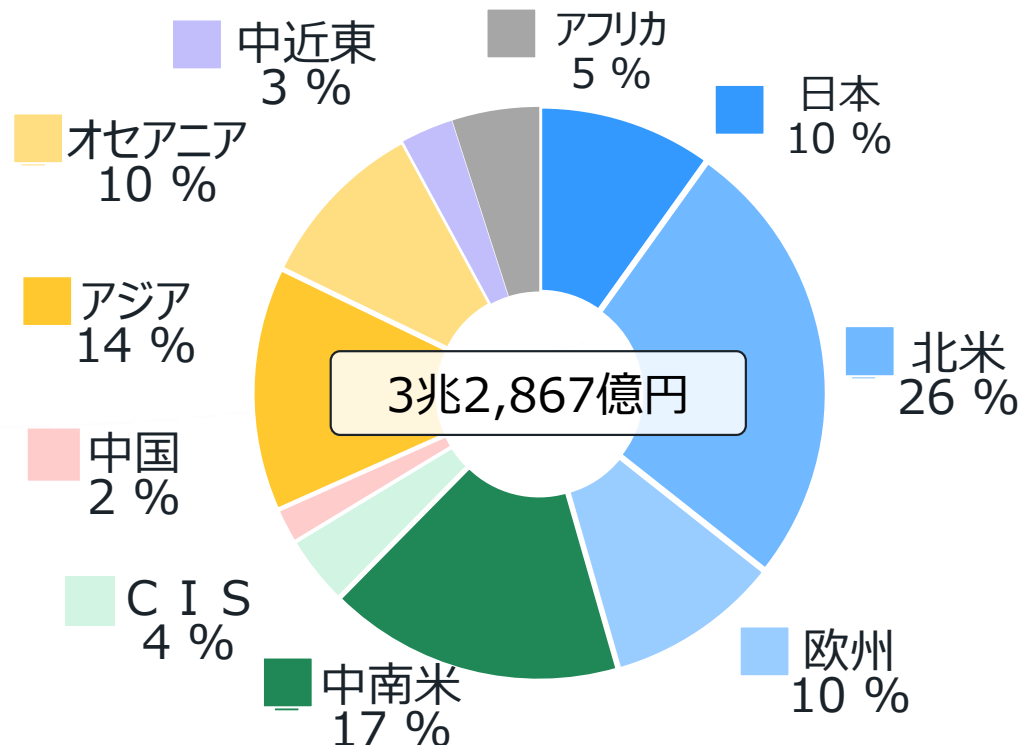
コマツの概要 (2023年3月期実績)

- ・設立 : 1921年5月13日
- ・連結売上高 : 3兆5,435億円
- ・営業利益 : 4,907億円
- ・総資産 : 4兆8,758億円
- ・連結子会社 : 211社
(日本) 12社 (海外) 199社
- ・連結従業員数 : 64,343人
社員の約68%は外国籍

事業別の売上高*構成



建設機械・車両事業の地域別売上高*構成



*売上高は外部顧客向け (セグメント間取引消去後) ベース

主要商品（建設・鉱山機械）

- ・ 建設・鉱山機械はインフラ開発や都市化の促進、鉱山資源の採掘に使われる。
- ・ 林業機械は木材の持続的な活用に貢献。グループ会社化を通じ事業を拡大。



主要商品（鉱山機械：採掘工法別）

- ・ 鉱山の採掘工法は、地表近くを採掘する「露天掘り」と地層深くを採掘する「坑内掘り」があり、採用する工法によって使用される鉱山機械が異なる。
- ・ コマツマイニング（旧ジョイ・グローバル社）をグループに加え、鉱山機械のラインナップを拡充。

露天掘り

主な製品



油圧ショベル



ダンプトラック



ロープショベル



坑内掘り

主な製品



ロードホールドラック



ドリルジヤンボ



採掘機

主要商品 (産業機械・その他)

- 世界トップクラスのシェア
半導体露光装置用光源エキシマレーザー(ギガフoton)、大型ACサーボプレス(コマツ産機)、
トランスファマシン、半導体シリコンウェハ用ワイヤソー(コマツNTC)

半導体 製造設備



半導体露光装置用光源
(エキシマレーザー)
[ギガフoton]



半導体製造用
温調機器
[K E L K]

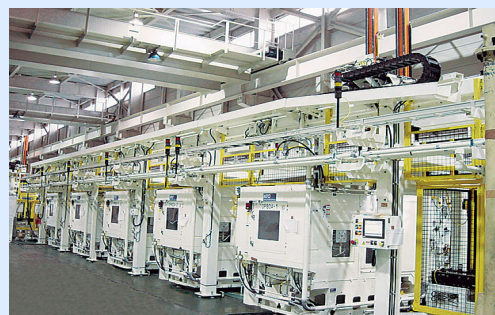


半導体シリコンウェハ用
ワイヤソー
[コマツNTC]

自動車 製造設備



大型A Cサーボプレス
(自動車ボディ成形用)
[コマツ産機]



トランスファマシン
(自動車部品加工)
[コマツNTC]



車載電池製造装置
[コマツNTC]

グローバル開発・生産体制

- 開発と生産の一体化：開発・生産機能を持つ工場＝「マザー工場」
- 主要コンポーネントは日本で開発・生産し、国内で技術革新を生み出す。
- 本体の組立は、需要の大きい地域で行う。

建設機械・車両の主な生産拠点

● ● ● …「マザー工場」



現地組立・生産の目的

- ① 顧客の信頼を勝ち取る
- ② 品質問題の早期解決
- ③ 現地仕様の取り込み
- ④ リードタイムの短縮
- ⑤ 為替リスク対応

地域別の生産拠点数

日本	米州	欧州 CIS	中国	アジア オセアニア	中近東 アフリカ	合計
12(4)	19(1)	14(4)	6	8	1	60(9)

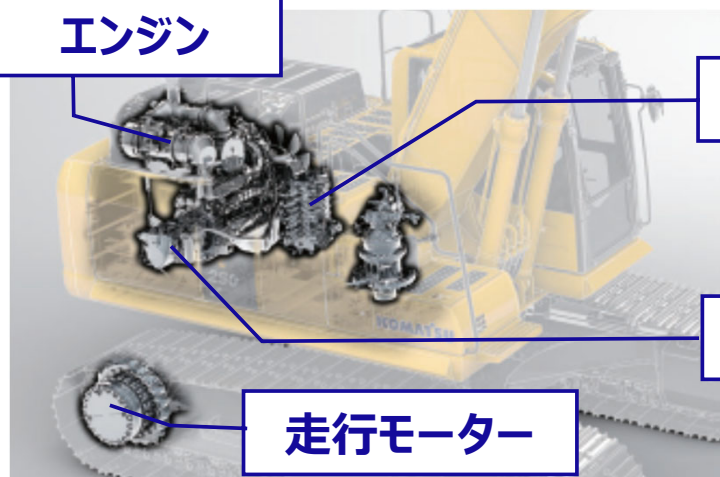
コマツの強み キーコンポーネントは自社開発・自社生産

● 自社開発・自社生産だからこそできること

- ① 技術革新の継続
- ② 全世界に同一品質のコンポーネントを安定的に供給
- ③ コンポーネントの再生ビジネス
- ④ 取り付けたセンサーからの情報を解析した予知保全

主なキーコンポーネント

エンジン

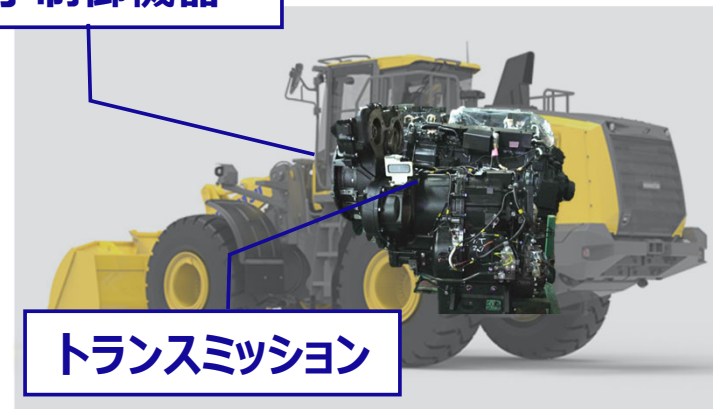


コントロールバルブ

ピストンポンプ

走行モーター

電子制御機器



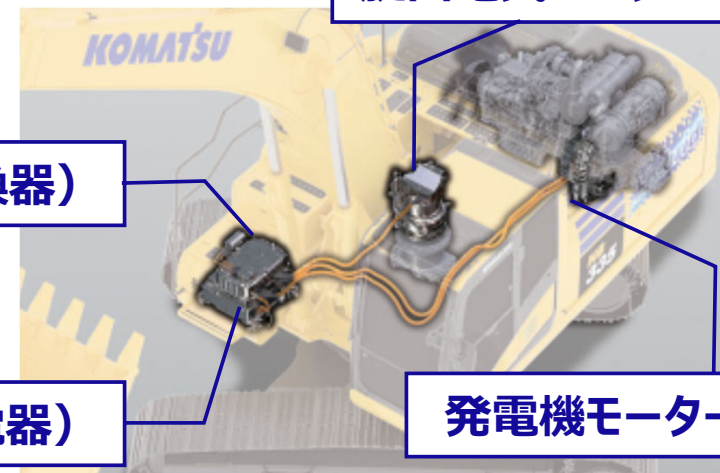
トランスミッション

アクスル（車軸）



旋回電気モーター

インバーター（変換器）



キャパシター（蓄電器）

発電機モーター

コマツの強み レジリエントな生産・調達体制

- 需要・為替の変動など、各工場の生産能力を有効活用し、最適な工場生産して輸出。
- パンデミック・自然災害・地政学的リスクなどの環境変動に強い生産調達体制の構築を推進。

グローバルクロスソース体制

<中型油圧ショベルのクロスソーシング例>

- 海外拠点間のクロスソース
- 日本からのソーシング



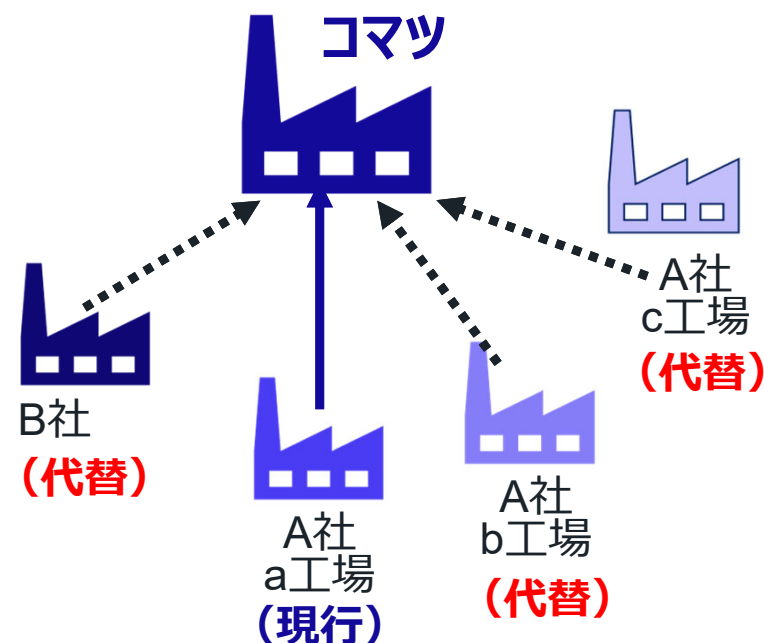
<必要条件>

- ① ベースマシンの統一
- ② 生産管理システムの統一
- ③ 生産・設計BOM※の統一
- ④ 製造プロセス・品質基準の統一

※BOM: Bill of Material 部品構成表

調達マルチソース体制

複数メーカーからの部品購入、現地調達の拡大



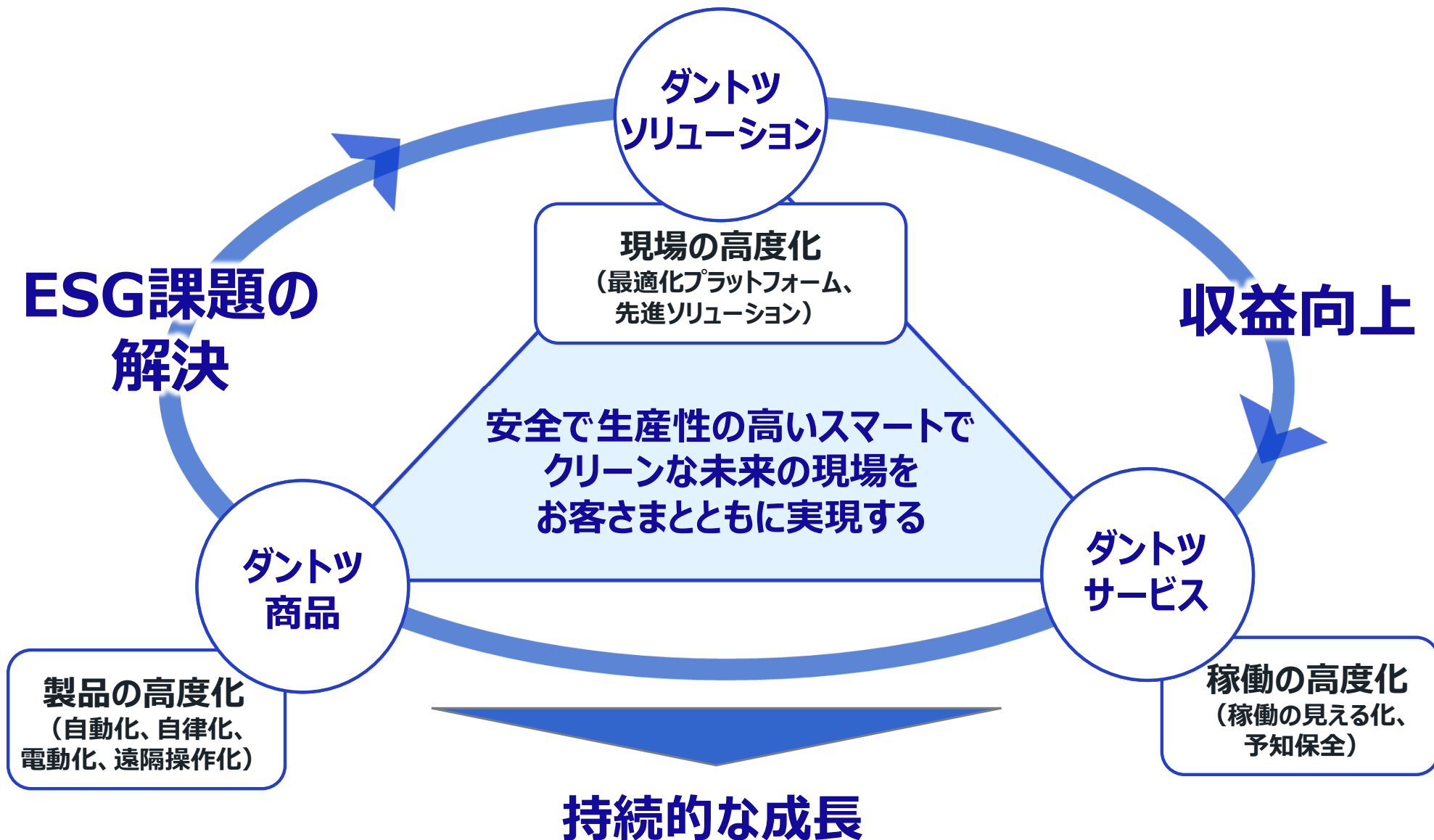
1. コマツの概要

2. 中期経営計画 —成長戦略とESG課題解決—

3. 業績および株主還元について

DANTOTSU Value

ESG課題解決と収益向上の
好循環を生み出す顧客価値創造



コマツの目指す、ありたい姿：未来の現場へのロードマップ

(スマートコンストラクションの場合)

顧客価値の最大化

- レベル5
施工タスク生成・指示
- レベル4
施工計画の最適化
- レベル3
データ・モニタリング
- レベル2
地形・現場の可視化
- レベル1
現場のデジタル化

コト【顧客プロセス全体の最適化レベル】

従来施工

モノ【機械の自動化・自律化レベル】

- ◆ カーボンニュートラル
- ◆ 安全で生産性の高い
スマートでクリーンな
未来の現場
- ◆ DX



レベル1 運転支援 限定	レベル2 運転支援 範囲拡大	レベル3 高度化 単独自動	レベル4 高度化 協調自律	レベル5 高度化 判断自律
--------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------

モノ【機械の効率化/低排出カーボン化レベル】

レベル1 内燃機関	レベル2 エネルギー 回生	レベル3 水素混焼 エネ回生	レベル4 フル電動 有線/電池	レベル5 燃料電池
--------------	---------------------	----------------------	-----------------------	--------------

ものづくり技術の革新・新しいバリューチェーンの構築

コマツの目指す、ありたい姿：2050年 カーボンニュートラル宣言

2030年までのCO2排出量削減目標*の先を見据え、2050年までにカーボンニュートラルを目指し、脱炭素社会に向けた価値づくりに挑戦していきます。

- ・ 生産技術改革による高効率化 および さまざまな製品開発アプローチへの対応（技術パートナーシップの拡大）
- ・ お客さまの現場全体の最適化を通じた効率改善 および、循環型ビジネス（林業機械、リマン**事業）の推進

(*CO2排出量：2010年比 50%削減、再生可能エネルギー使用比率：50%)

生産

(Scope 1+2：自社排出)

● 省エネルギー

生産性向上・高効率化による
エネルギー消費の縮減

● 創エネルギー

再生可能エネルギー設備の導入
(太陽光、バイオマスなど)

● 再生可能エネルギー購入

認証されたグリーン電力購入や
カーボン・クレジットの取得など



開発

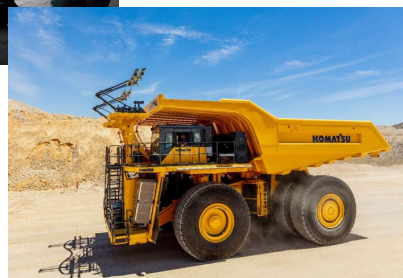
(Scope 3：製品使用時)

● 作業効率向上・燃料消費量の削減

(内燃機関：ディーゼルエンジン)

● よりクリーンな動力源への移行

- ・ハイブリッド
- ・バッテリー式／有線式 電動
- ・燃料電池
- ・水素／バイオ燃料／e-fuel内燃機関



お客さまの現場

● 顧客現場オペレーションの最適化を通じた効率改善

- ・DXスマートコンストラクション
- ・鉱山用オープンテクノロジープラットフォーム

● 林業機械事業による貢献

- ・植林・造林・育林・伐採のあらゆる工程の機械化
- ・スマート林業



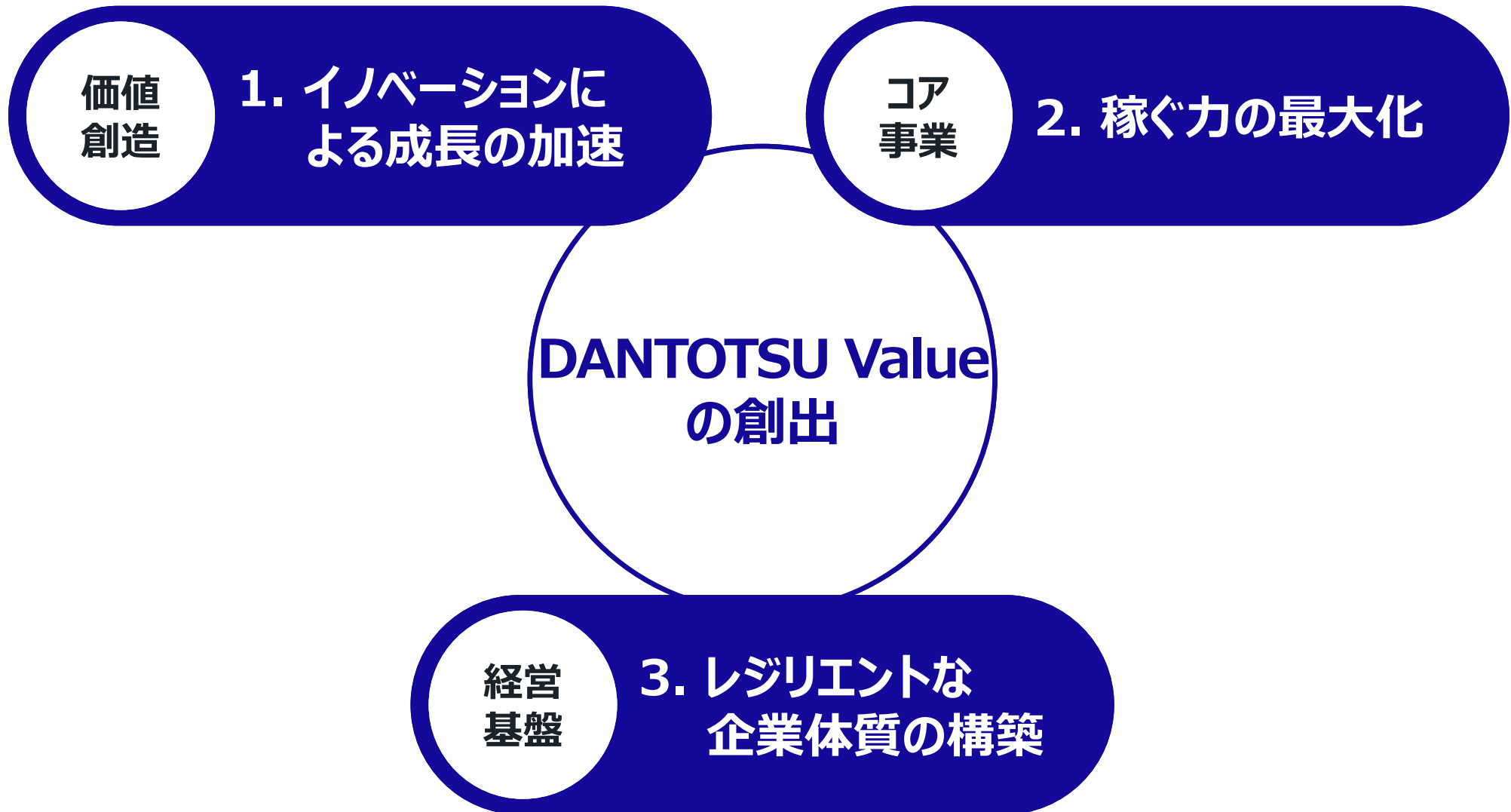
● リマン**事業による貢献

- ・コンポーネントの再生・再利用
(資源節約、廃棄物削減)

(**リマン：リマニュファクチャリングの略)

DANTOTSU Value

Together, to "The Next" for sustainable growth

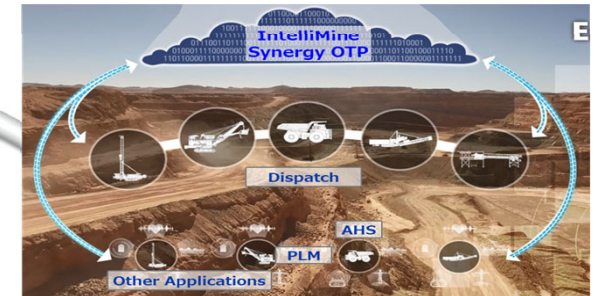


建設機械における遠隔操作の推進



現場を最適化する
新たな顧客価値の創造

鉱山用オープンテクノロジープラットフォーム



イノベーションによる 成長の加速

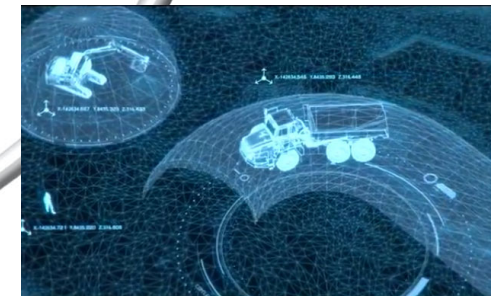
カーボンニュートラルに向けた
価値（モノ・コト）づくりの挑戦



電動化建機の市場導入



コマツNTCの車載電池製造装置



スマートコンストラクション
の海外展開



- 2008年コマツが世界で初めて商用導入した、鉱山向け無人ダンプトラック運行システム。661台が稼働中。
- 鉱山全体の自動化のため、超大型油圧ショベルやブルドーザーの遠隔操作・自動運転のトライアルを推進中。

AHS 5カ国

(オーストラリア、カナダ、ブラジル、チリ、スウェーデン)

22現場にて**661台**※

※2023年6月現在

Anglo American社銅鉱山 (チリ) へ AHS導入



ALV※の開発において協業を開始

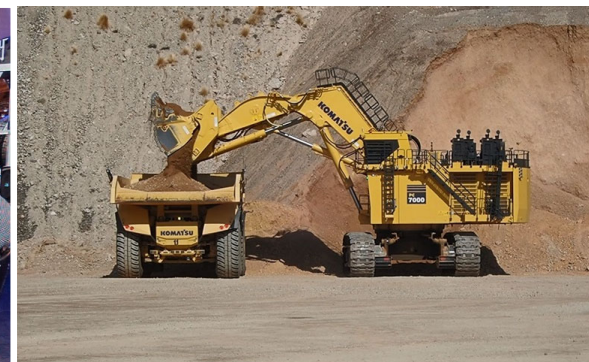


コマツ製無人ダンプトラックと、トヨタ製ALV (コンセプト車両)

KOMATSU

※ライトビークル (Autonomous Light Vehicle)

超大型油圧ショベルの遠隔操作と無人専用運搬車両



大型ICTブルドーザー遠隔操作の商用稼働を開始



「動画：遠隔操作の様子」

鉱山用オープンテクノロジープラットフォームによる事業推進

- お客さまである鉱山会社は、全データを一元管理し、工程から工程を遅滞なく繋ぐことで鉱山全体の最適化を目指している。
- コマツは鉱山用プラットフォームを開発中、お客さまの現場でのトライアルを進め、鉱山全体の最適化に貢献。

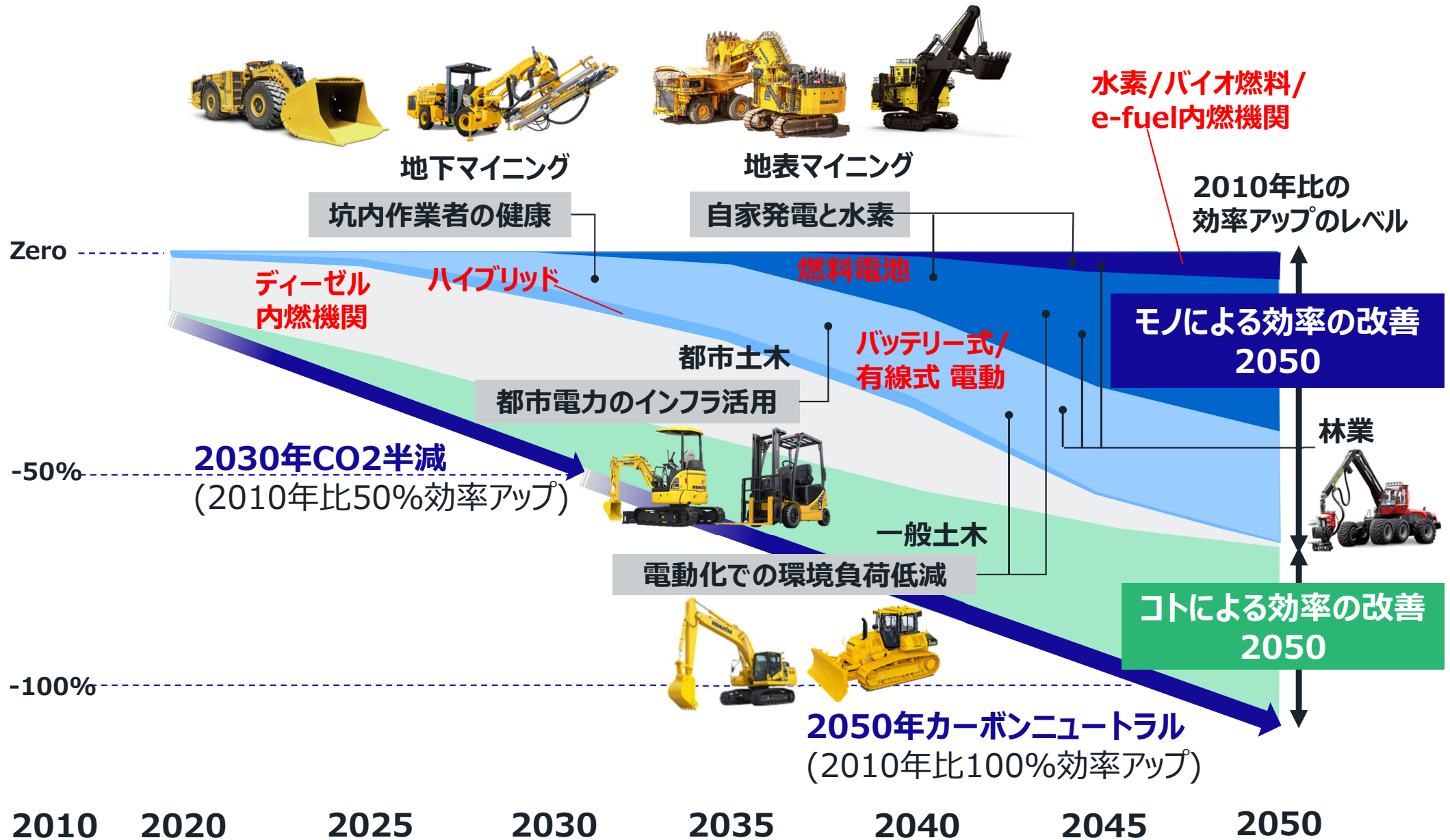


一元管理



コマツプラットフォーム
(鉱山全体の最適化)

カーボンニュートラル (CN) への挑戦①




カーボンニュートラル（CN）への挑戦②

- 建設・鉱山機械の機種・クラス・地域ごとに様々な方法でアプローチ。

	～2021	2022	2023	～2030	
出力サイズ ↓ 小型ショベル フォークリフト	鉛バッテリー 	有線電動 	バッテリー電動 電動ミニショベル PC30E-5 	HONDAと協業 電動マイクロショベル PC01E-1 21年度市場導入 PC05E-1 23年度市場導入予定 	リチウムバッテリー 電動フォーク FE25G FE30G  3トン量産モデル 23年度市場導入予定 
中大型 ショベル	ハイブリッド 		バッテリー電動 	燃料電池 水素エンジン Proterra社との協業 PC200LCE-11 22年度量産、23年度市場導入予定	
ホイール ローダー			バッテリー電動 	ムーグ社と共同開発 22年コンセプトマシン発表	
鉱山機械 (地表)	ディーゼルエレクトリック、 トローリ 	有線電動 	パワーアグノスティック 	バッテリー電動 21年 コンセプトマシン発表 	燃料電池 水素エンジン テストベンチ 設置  パワーアグノスティック 25年：バッテリートローリ 30年：燃料電池
鉱山機械 (地下)	ハイブリッド 		バッテリー電動 ドリルジャンボ 21年度試作 23年度量産 	Proterra社との協業 ボルタ 23年度試作 23年度量産  LHD 23年度試作 24年度量産	

 : 市場導入開始

 : 実証実験・コンセプト車発表

 : 研究開発開始

カーボンニュートラル（CN）への挑戦③

- カーボンニュートラルへの「ブリッジテクノロジー」として、保有技術の活用を促進する。
- バイオディーゼル、HVOなどの「カーボンニュートラル燃料」についても活用に取り組む。

ブリッジテクノロジー



トローリー
／有線式



ハイブリッド



ディーゼルエレクトリック

開発の方向性:エネルギー

非内燃機関
(Non-ICE)

バッテリー車

燃料電池 (FC) 車

2020

2030

2040

2050

ハイブリッド、DE、トローリー/有線式

ディーゼルエンジン車

CN燃料

HVO
(水素化植物油)

バイオディーゼル
(FAME)

GTL燃料



欧州工場の充填燃料を
HVO燃料へ順次切り替え

バイオ燃料

e-fuel

内燃機関
(ICE)

水素「混焼」エンジン (発電機)

水素「専焼」エンジン車

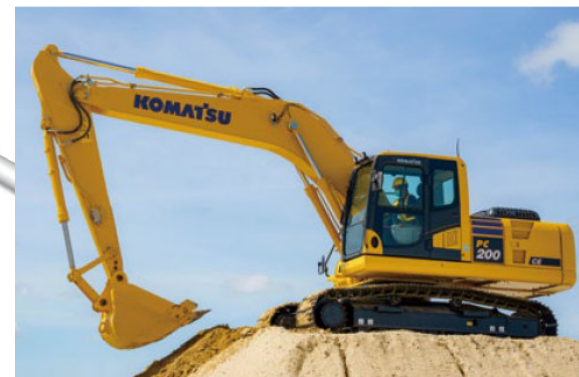
成長戦略3本柱 (2) 稼ぐ力の最大化

キーコンポーネントを自社開発・生産する強みを
活かしたバリューチェーンビジネス強化



成長市場における
プレゼンス拡大

戦略地域の特성에応じた
商品戦略の推進



稼ぐ力の最大化

バリューチェーンビジネスの
進化による更なる成長

アフリカ市場への
取り組み強化



林業機械事業の拡大
(植林用アタッチメントを
取り付けたブルドーザー)



坑内掘りハードロック事業の拡大
(鉱山機械「マイニングTBM」)



(ガボンで稼働するPC2000)

戦略市場における取り組み

- アジア地域をはじめとする戦略市場向けの取り組みの一つとして、お客さまのニーズに対応し、「**2ラインモデル戦略**」を展開。
- 20tクラスは都市土木作業に適した仕様の「CEシリーズ」を販売、シェア維持・増加に貢献。
- 燃料価格の高騰に加え、気候変動への意識が高まりの中、30tクラスはハイブリッド油圧ショベルを販売。

20トンクラス

- ハイエンドモデル
- CEシリーズ
(軽負荷作業モデル)



油圧ショベル CEシリーズ

30トンクラス

- 標準機
- ハイブリッドモデル

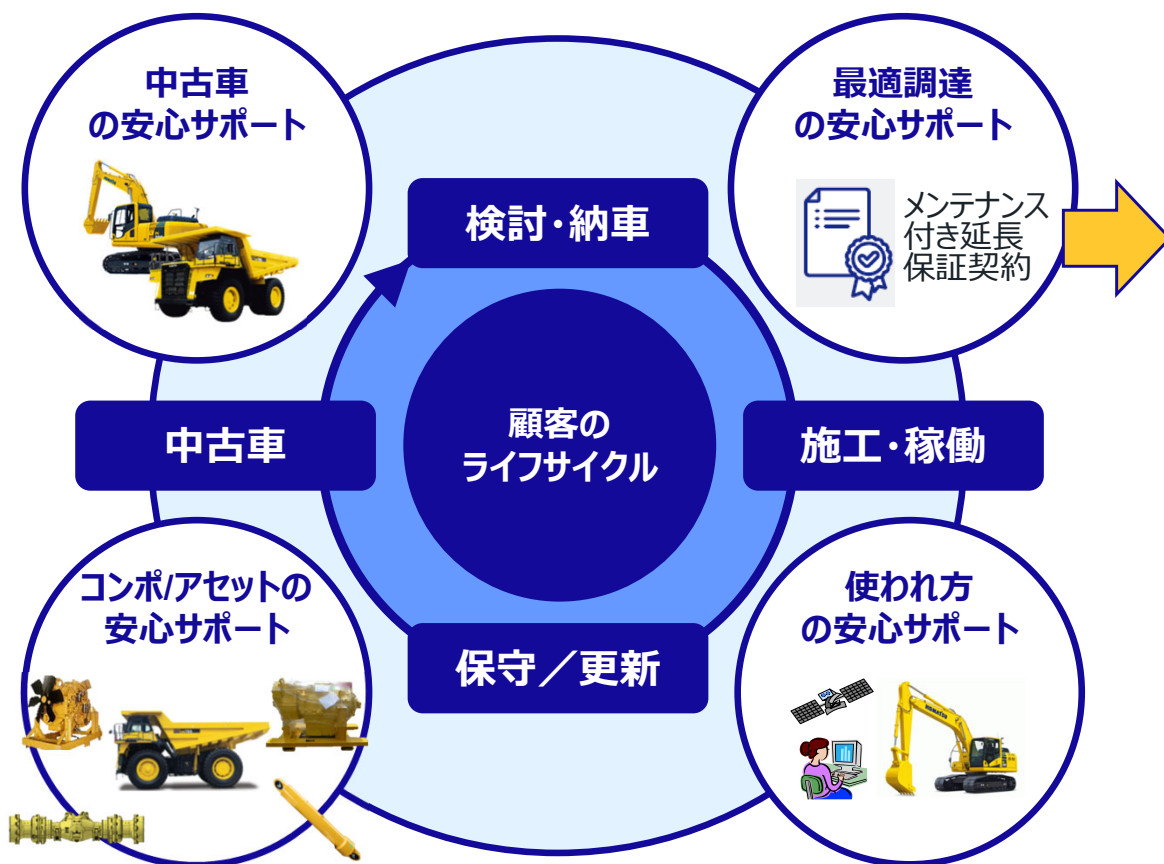


ハイブリッド油圧ショベル

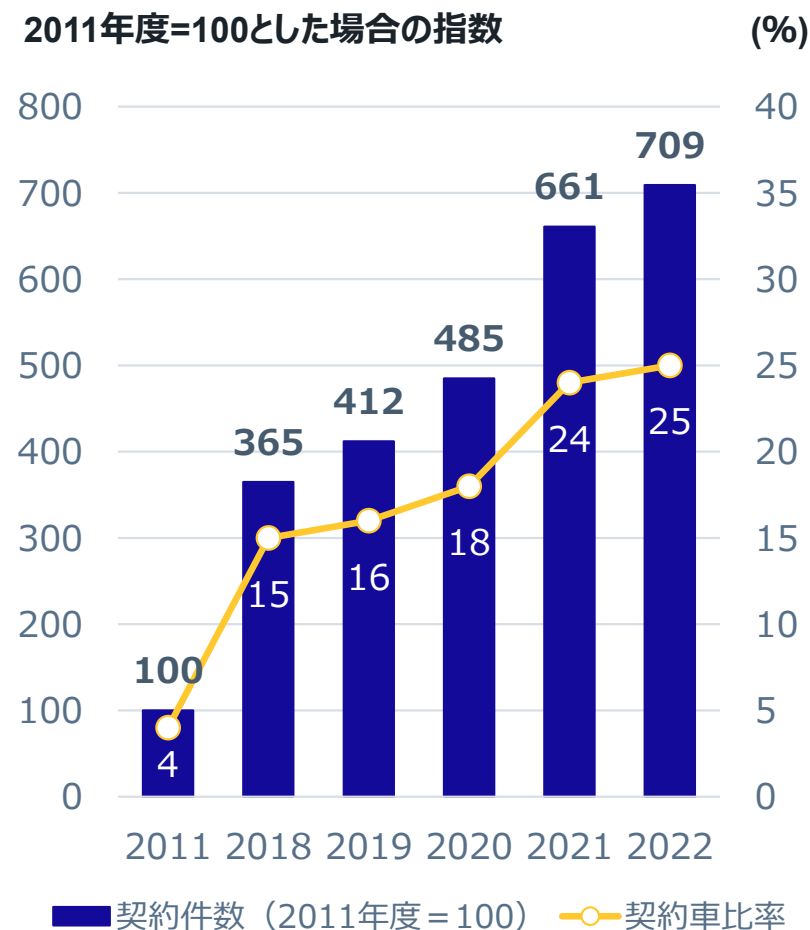
ライフサイクルサポートビジネス

- ・ 建設機械は購入後の定期的なメンテナンスや修理などのサポートが必要不可欠。
- ・ 新車購入から中古車売却まで、途切れることなくサポートを継続。販売後も安定的に収益をあげるビジネスモデルを更に強化。

ライフサイクル安心サポート



メンテナンス付き延長保証契約車両推移



生産のクロスソーシング強化

デジタル人材育成のための社内選抜研修



効率的な事業運営と リスクマネージメントの強化

レジリエントな 企業体質の構築

多様性に富む人材基盤の充実化



Creating value together

グローバルなブランド戦略展開

社員エンゲージメントの向上

多様な人材がいきいきと働ける職場づくり（ダイバーシティ&インクルージョン）

- ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）とは、多様な背景や価値観を持つ社員同士が互いに個性や能力を認め合い活かし合っている状態。
- D&I推進をイノベーション創出と成長につなげるため、「多様性に富む人材基盤の充実化」を図る。

コマツのD&I促進の考え方

活発で建設的な議論ができる健全な職場づくり

モチベーション向上や企業文化の変化

イノベーションの創出 = 会社全体の成長

社内 D&Iプロモーション グローバルキャンペーン中



重点活動「多様性に富む人材基盤の充実化」

グローバルな人材育成

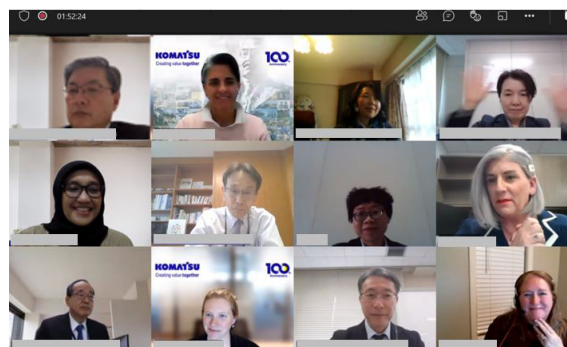
- 社員の68%が外国籍
- 主要な現地法人トップ = ナショナル社員



KOMATSU

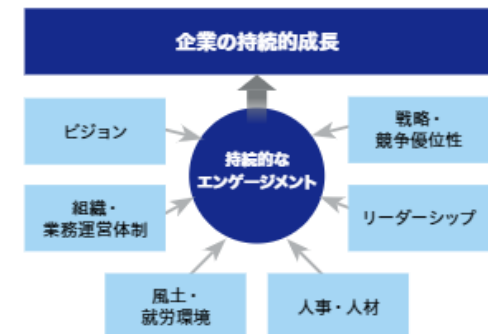
ジェンダー・ダイバーシティの推進

- 女性社員比率・女性管理職比率向上
- 女性リーダーを対象とした研修プログラム




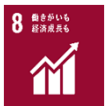












社員エンゲージメントの向上

- グローバルエンゲージメント調査を実施
- 地域・組織ごとの分析を反映した施策



成長戦略を通じたESG課題解決

- 2021年に制定したサステナビリティ基本方針に基づき、事業活動を通じて社会に貢献していくことを目指している。
- マテリアリティ（重要課題）と関連性の高い、10のSDGsゴールを選定。
- 中期経営計画の成長戦略を通じたESG課題解決を着実に遂行していくためにKPIを設定。

	SDGsとの関係	中期経営計画のKPI 24年度目標 例
人と共に マテリアリティ： 「社員」「人権」	 ジェンダー平等  働きがいと経済成長  不平等をなくす  パートナシップ	女性管理職比率 グローバル： 13% 以上 DX、AI人材の育成 3年累計受講者数 DX 実践/入門： 180/900 AI 実践/入門： 30/90
社会と共に マテリアリティ： 「顧客」 「倫理・統治」 「地域社会」	 産業と技術革新  まちづくり  つくる・つかう責任  パートナシップ	スマコン導入現場数 24年度単年度 グローバル： 13,000 現場 マルチソーシング比率 BCP対応 92% AHS累計導入台数 グローバル： 740 台 ガバナンス・コンプライアンスの徹底 取り組み実績を開示
地球と共に マテリアリティ： 「環境」	 クリーンエネルギー  産業と技術革新  つくる・つかう責任  気候変動への対策  陸の豊かさ  パートナシップ	生産によるCO2排出削減率 2010年比 Δ 45% 再生可能エネルギー使用比率 20% 製品使用によるCO2排出削減率 2010年比 Δ 24% 建設鉱山機械の電動化推進 開発ステップ、市場導入機種 の拡大

地雷除去プロジェクト

- 2008年よりNPO「日本地雷処理を支援する会（JMAS）」と提携し、地雷処理から復興までのコミュニティ開発を目的とした支援活動に取り組む。

地雷原

機械で素早く
安全に除去

コミュニティの復興



ブルドーザーベース
<地雷処理用>



油圧ショベルベース
<不発弾処理用>

地雷除去活動



インフラ・農地整備



学校建設



中期経営計画の経営目標について

- ・ 経営目標は、成長性、収益性、効率性、健全性、およびESGの構成・内容を継続し、ESGには、新たに「2050年カーボンニュートラル」をチャレンジ目標として追加。
- ・ 株主還元は、成長戦略への重点投資を優先しながら、安定的な配当の継続に努める方針を継続。

項目	経営指標	経営目標
成長性	売上高成長率	業界水準を超える成長率
収益性	営業利益率	業界トップレベルの利益率
効率性	ROE	10%以上
健全性	ネットD/Eレシオ	業界トップレベルの財務体質
リテール ファイナンス事業	ROA	1.5% – 2.0%
	ネットD/Eレシオ	5倍以下
ESG	環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出削減：2030年50%減（2010年比） <p style="text-align: center;">2050年 カーボンニュートラル（チャレンジ目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー使用率：2030年50%
	外部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・DJSI*選定（ワールド、アジアパシフィック） ・CDP** Aリスト選定（気候変動、水リスク）
株主還元	連結配当性向	<ul style="list-style-type: none"> ・成長への投資を主体としながら、株主還元(自社株買いを含む)とのバランスをとる ・連結配当性向を40%以上とする。

1. コマツの概要

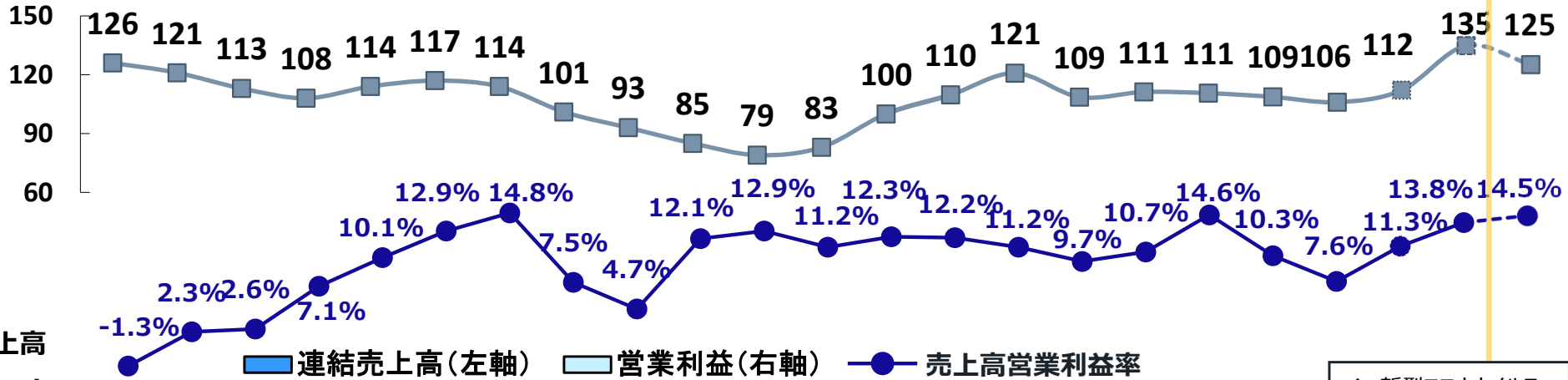
2. 中期経営計画

—成長戦略とESG課題解決—

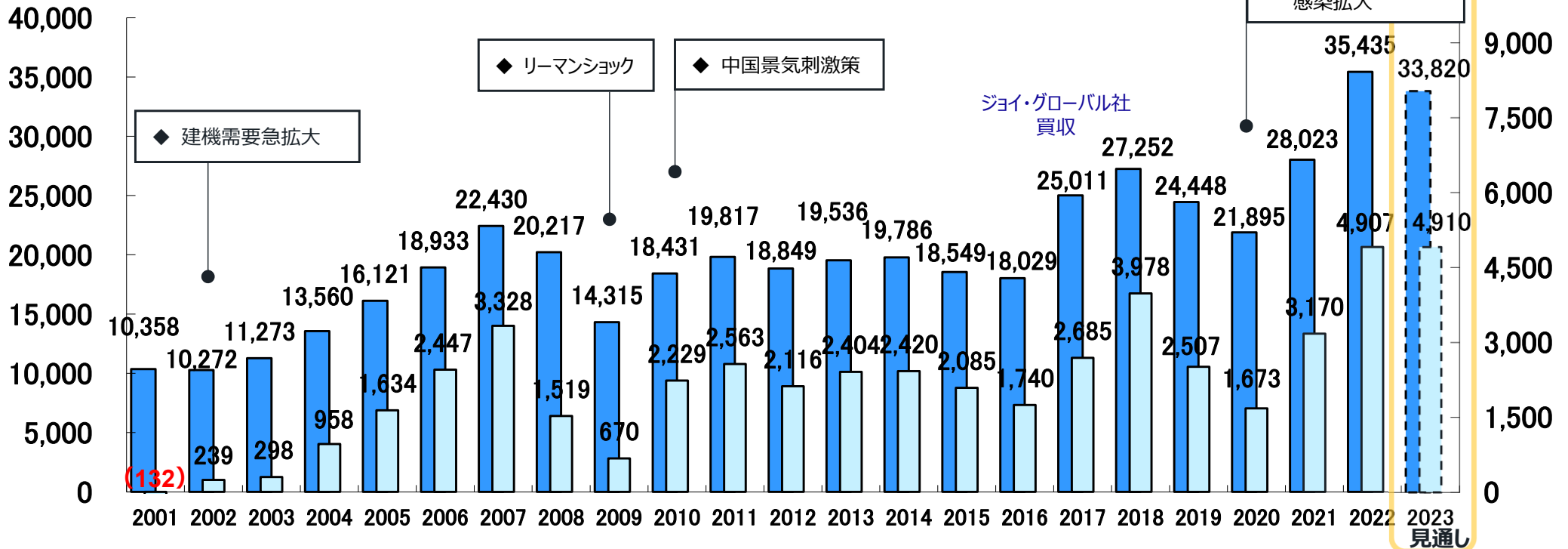
3. 業績および株主還元について

年間業績推移

為替レート (円/ドル)



売上高 (億円)



海外生産拡大
多角化

選択と集中

ICTを活用したバリューチェーンの拡大

顧客価値創造

2023年度の業績見通し（概要）

- 2023年度の業績見通しは、前回の見通し（4月）から変更無し。
- 連結売上高は前年比▲4.6%減収の3兆3,820億円。
- 営業利益は前年比+0.1%増益の4,910億円。
- 1株当たり配当金は139円。

金額単位：億円	2022年度 ¥134.8/USD ¥140.3/EUR ¥92.5/AUD	2023年度 (見通し) ¥125.0/USD ¥133.0/EUR ¥83.0/AUD	前年比	
			増減	増減率
連結売上高	35,435	33,820	▲ 1,615	▲4.6%
営業利益	4,907	4,910	+3	+0.1%
売上高営業利益率	13.8%	14.5%	+0.7 [°] 1 [°] 1 [°]	-
当社株主に帰属する当期純利益	3,264	2,990	▲ 274	▲8.4%
ROE	13.7%	11.7%	▲2.0 [°] 1 [°] 1 [°]	
1株当たり配当金（円）	139円	139円	±0円	
連結配当性向	40.3%	44.0%		

2023年度の各セグメント売上高と利益の見通し

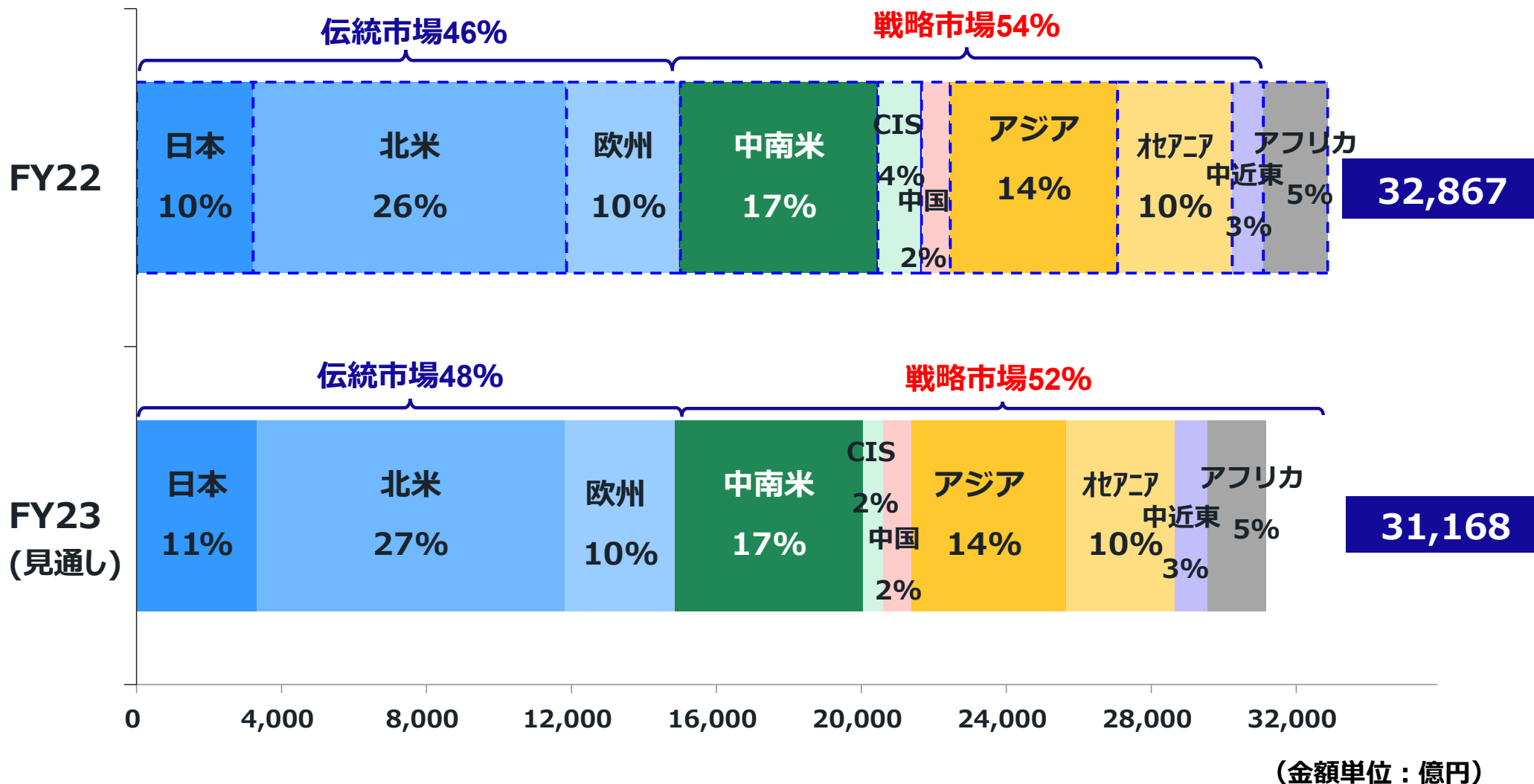
- 建設機械・車両部門の売上高は3兆1,380億円。セグメント利益は4,630億円。
- リテールファイナンス部門の売上高は835億円。セグメント利益は170億円。
- 産業機械他部門の売上高は2,010億円。セグメント利益は230億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2022年度		2023年度 (見通し)		前年比			
					増減		増減率	
売上高	35,435		33,820		▲ 1,615		▲ 4.6%	
建設機械・車両	(32,867)	32,966	(31,168)	31,380	(▲1,699)	▲ 1,586	(▲5.2%)	▲ 4.8%
リテールファイナンス	(678)	856	(645)	835	(▲33)	▲ 21	(▲4.9%)	▲ 2.5%
産業機械他	(1,889)	1,909	(2,007)	2,010	(+118)	+101	(+6.2%)	+5.3%
消去	▲ 297		▲ 405		▲ 108		-	
セグメント利益	□ 13.9%	4,935	□ 14.7%	4,980	□ +0.8% 円ト	+45	+0.9%	
建設機械・車両	□ 13.5%	4,436	□ 14.8%	4,630	□ +1.3% 円ト	+194	+4.4%	
リテールファイナンス	□ 31.8%	273	□ 20.4%	170	□ ▲11.4% 円ト	▲ 103	▲ 37.7%	
産業機械他	□ 11.8%	226	□ 11.4%	230	□ ▲0.4% 円ト	+4	+1.8%	
消去または全社	1		▲ 50		▲ 51		-	

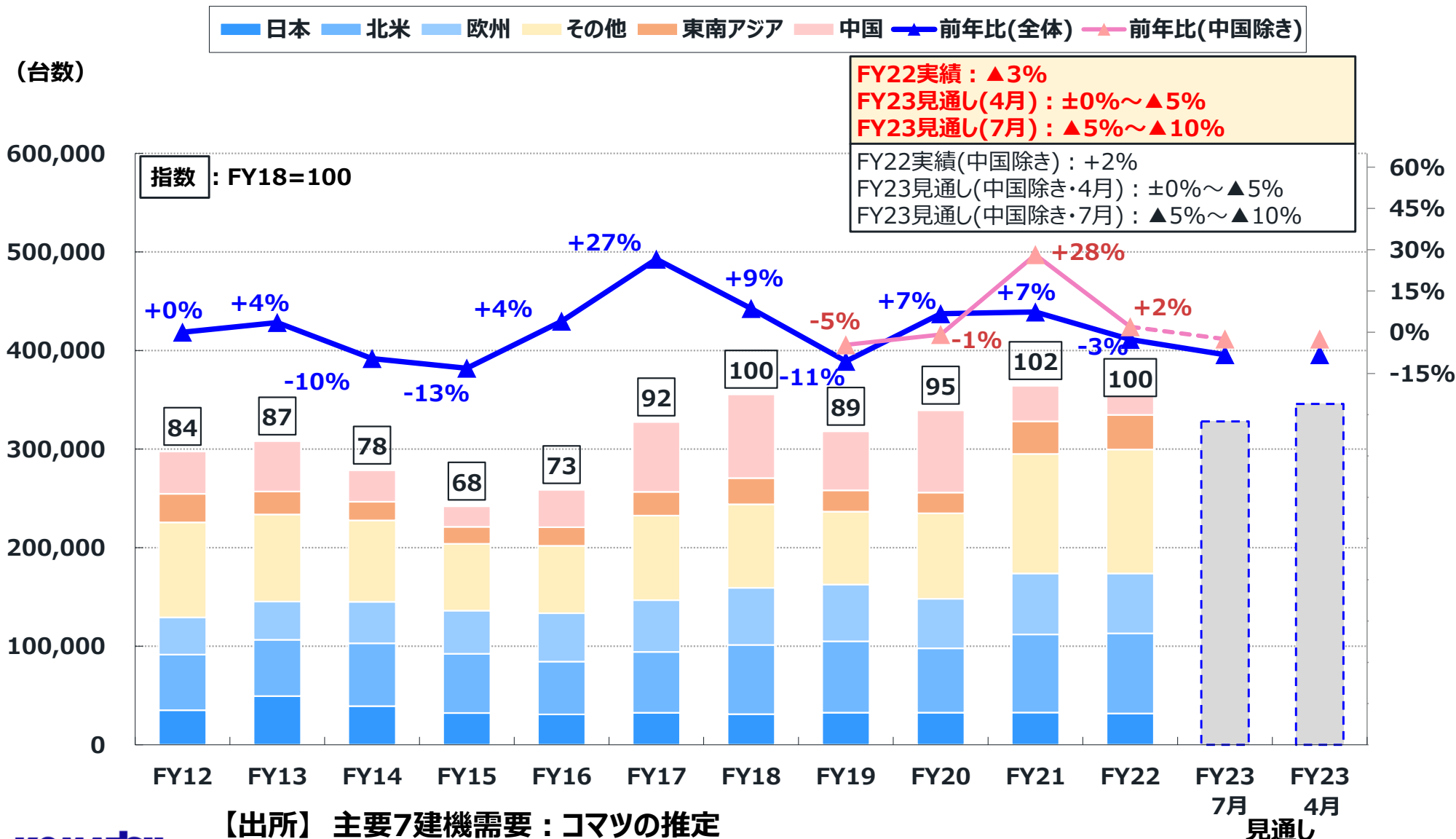
<建設機械・車両> 地域別売上高（外部顧客向け）

- 外部顧客向け売上高は前年比▲5.2%減収の3兆1,168億円の見通し。
- 伝統市場の比率は48%、戦略市場の比率は52%。



<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- 2023年度の第1四半期の需要は、前年同期比▲9%の減少。中国を除く地域では、前年同期比▲5%の減少。
- 2023年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し（4月見通しより変更）。
- 中国を除く地域も前年比▲5%～▲10%の見通し（4月見通しより変更）。

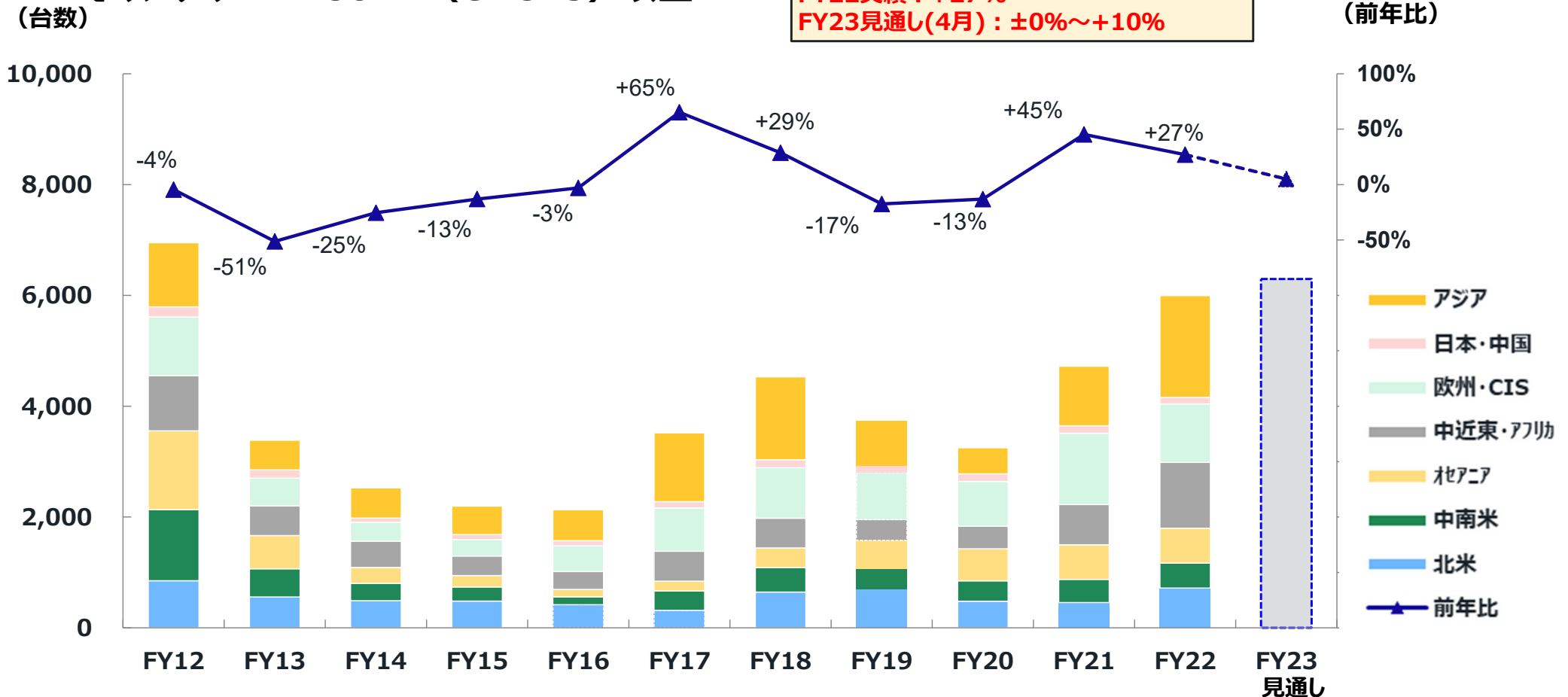


<建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と見通し

- 2023年度第1四半期の需要は、前年同期比+12%の増加。北米、インドネシア、オセアニアなどで需要が増加。
- 2023年度の需要は、前年比±0%～+10%の見通し（4月見通しから変更無し）。

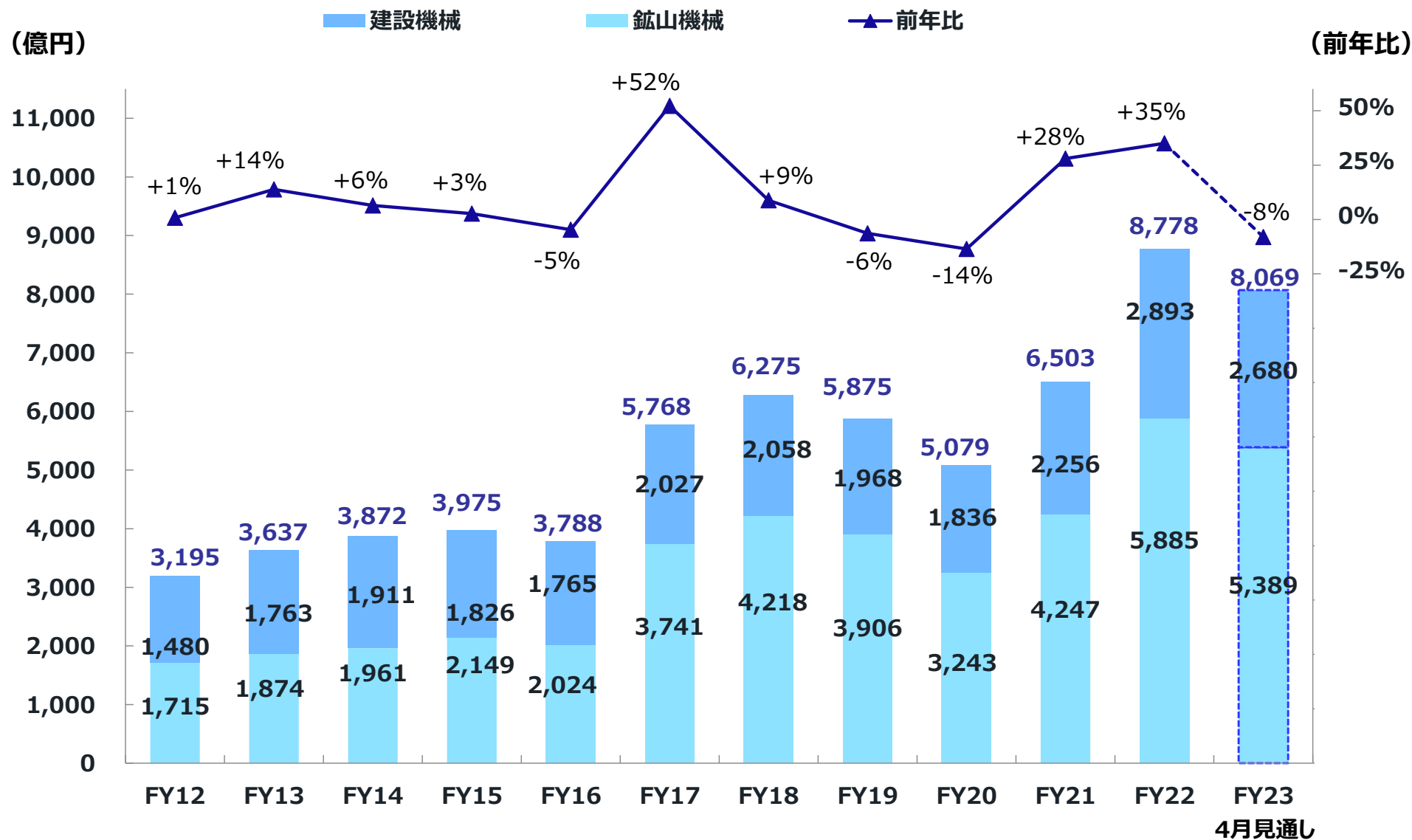
- ダンプトラック：75t（HD785）以上
- エクスキャバタ：200t（PC2000）以上
- モータグレーダ：280HP（GD825）以上

- ブルトンザ：525HP（D375）以上
- ホイローダ（機械駆動）：81HP（WA800）以上



<建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

- 2023年度第1四半期の部品売上高は、前年同期比+16%増収の2,343億円。
- 2023年度の部品売上高は、4月見通しの8,069億円を上回る見込み。



配当方針

- 当社は、持続的な企業価値の増大を目指し、健全な財務体質の構築と競争力強化に努めています。
- 配当金につきましては、連結業績に加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく方針です。
- 具体的には、**連結配当性向を40%以上**とする方針です。

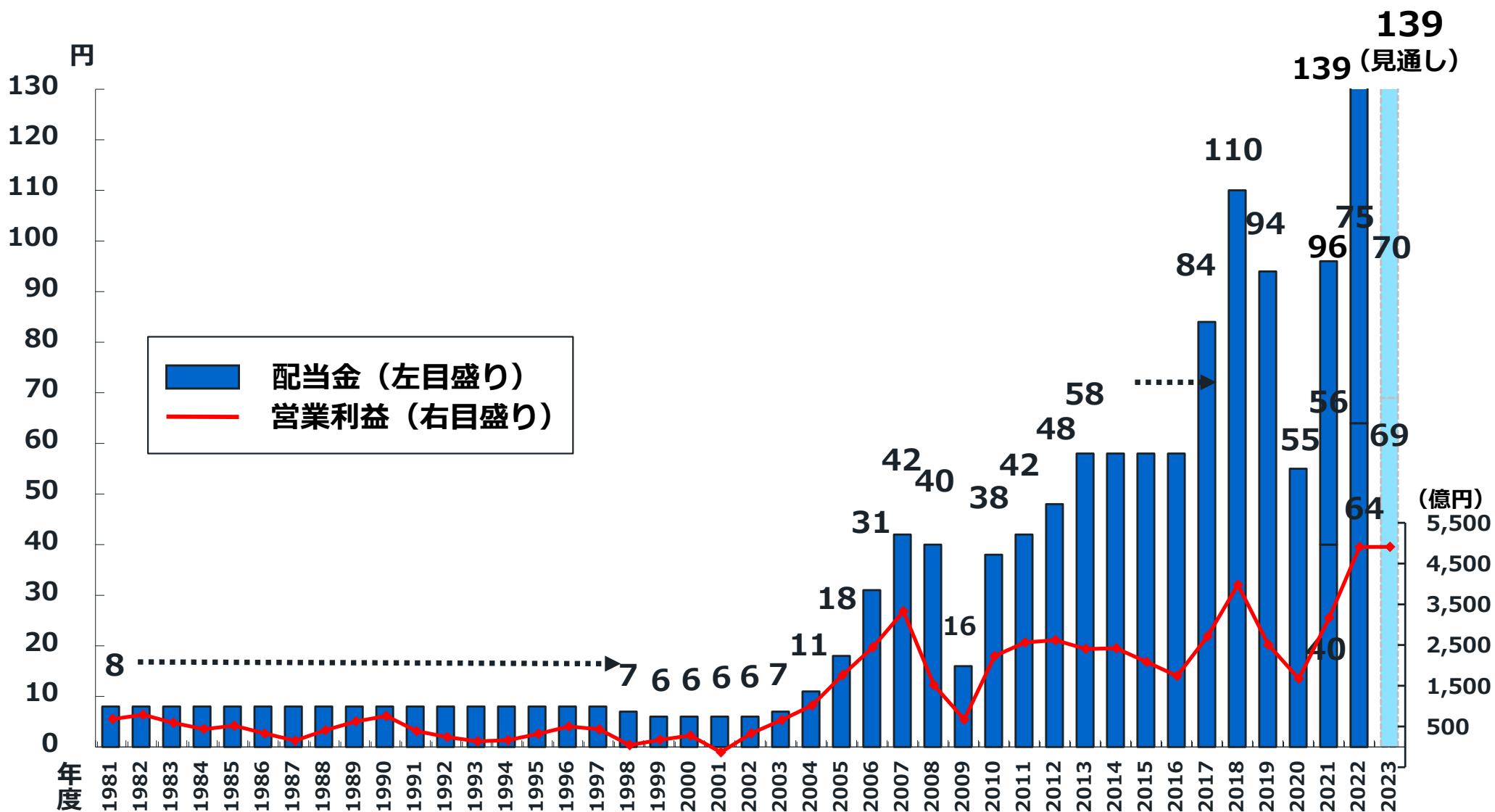
<連結配当性向推移>

	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23 見通し
配当方針	20%以上		20%~40%					30%~50%			40%~60%			40%~				
連結配当性向 総還元性向	19%	20%	40% 88% *	38% *	24%	24% 42%	36%	35%	36% 55%	40%	48%	40%	41%	58%	49% ※	40.3%	40.3%	44.0%

* 2008年度、2009年度は構造改革費用を除いたベース

※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

配当金の推移



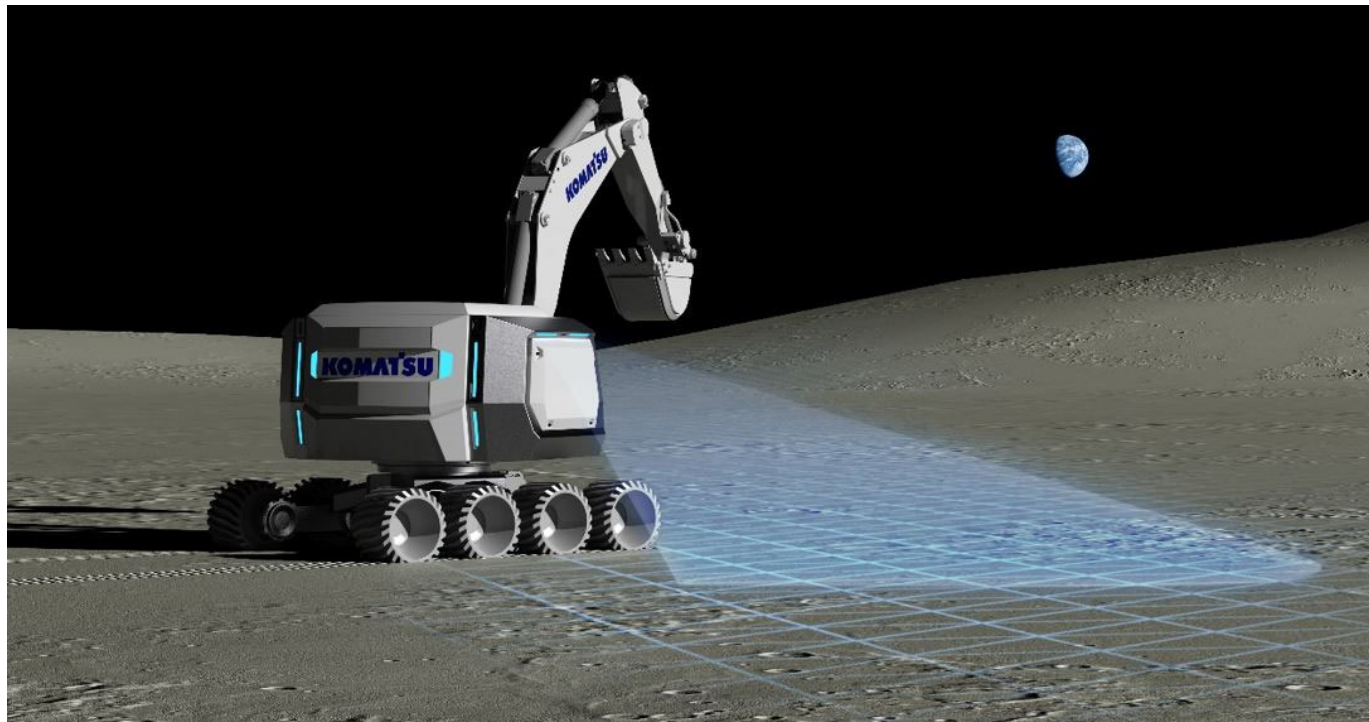
2020年度は記念配当金10円を含む
 配当金に加えて、2008年度、2011年度、2014年度にそれぞれ約300億円の自己株式取得を実施



- 内閣府主導「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」（スターダストプログラム）の一環である国土交通省「宇宙無人建設革新技術開発推進事業」に、選定されました。
- サイバー空間上に建設機械を精度よく構築することにより、月面環境での課題を抽出し、その課題を解決する方法の検討と検証を実施します。

コマツ受託研究開発

- 2021年度 月面建設機械のデジタルツイン技術構築
- 2022年度～2025年度 デジタルツイン技術を活用した、月面環境に適応する建設機械実現のための研究開発



デジタルツイン技術を活用した月面建設機械への適応（イメージ）

ご清聴ありがとうございました。



【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

コマツ サステナビリティ推進本部コーポレートコミュニケーション部 TEL: 03-5561-4711 <https://www.komatsu.jp/ja>

参考資料

長期保有株主さまへの感謝品

- 当社株式を長期保有いただいている株主さまに感謝品を進呈
(2014年7月より制度スタート)

- コマツ製品のオリジナルミニチュア(非売品)を対象の株主さまに進呈。
- 森林の立木の伐採に使用される林業機械ハーベスタをミニチュアにしました。



2023年度進呈
・931XC ホイールハーベスター

※ 画像はイメージです

対象となる株主さま

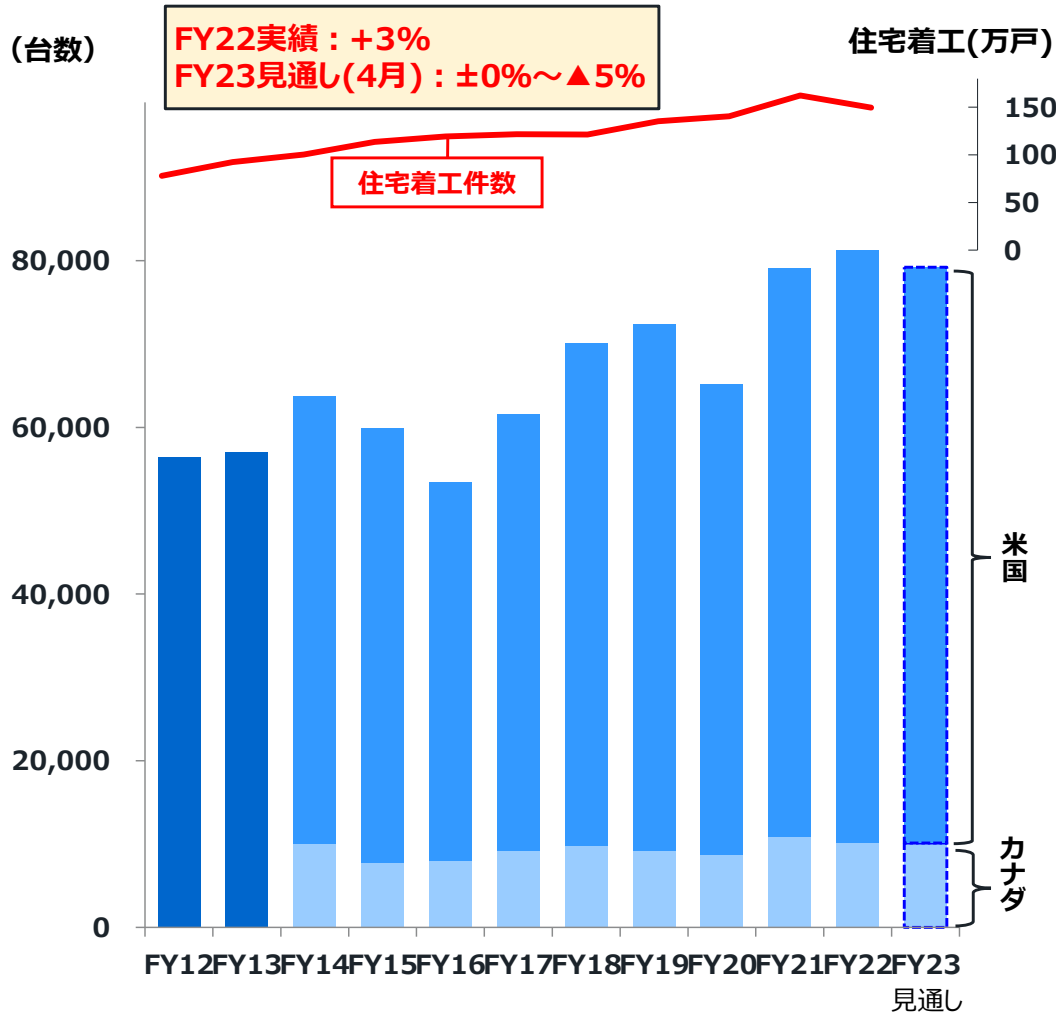
基準日(毎年3月31日)現在、当社株式の保有期間が**3年以上**(*)保有し、
かつ**3単元(300株)**以上を保有の株主さま

*毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて7回以上連続して当社株式を保有していたと記載されている方

<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②北米

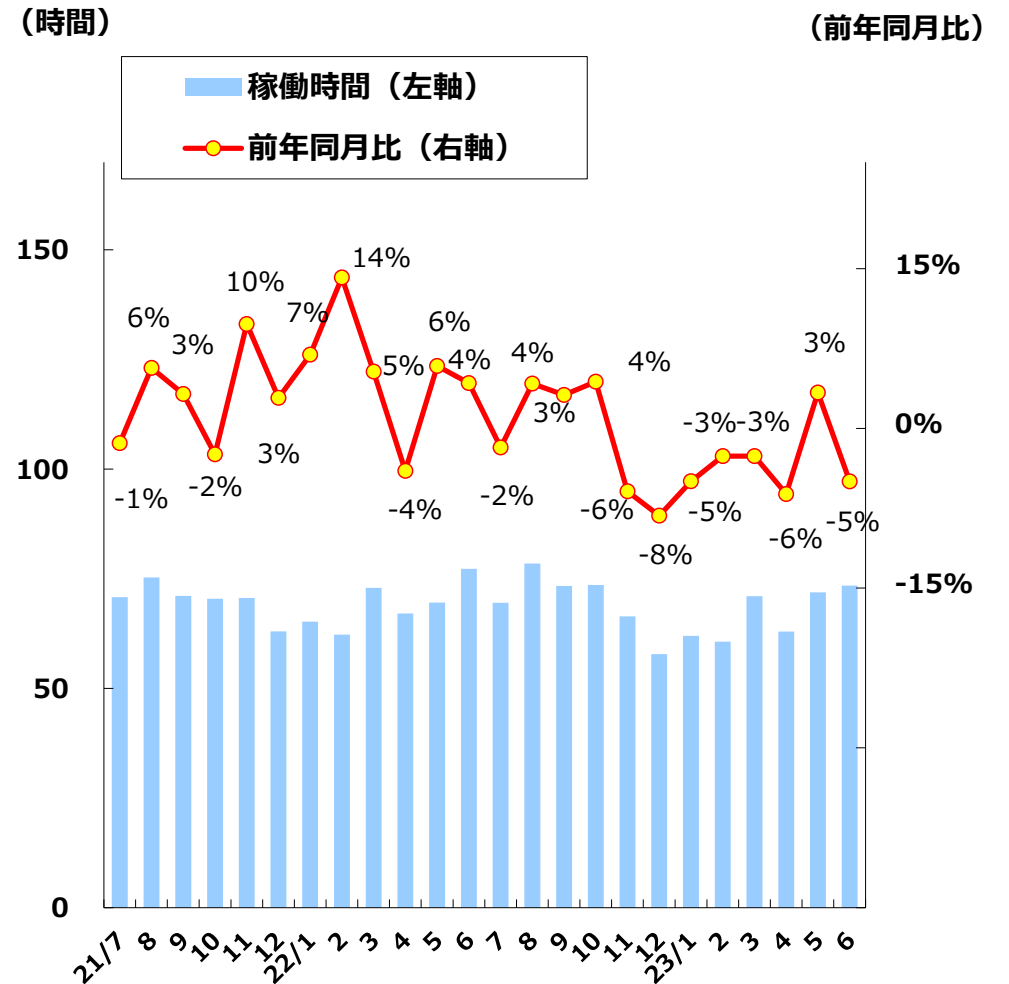
- ・2023年度第1四半期の需要は、前年同期比+3%の増加。金利上昇の影響で住宅建設向けの減少傾向があるものの、レンタル、インフラ、エネルギー関連向けが好調に推移。
- ・2023年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

主要7建機 需要推移と住宅着工件数



【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

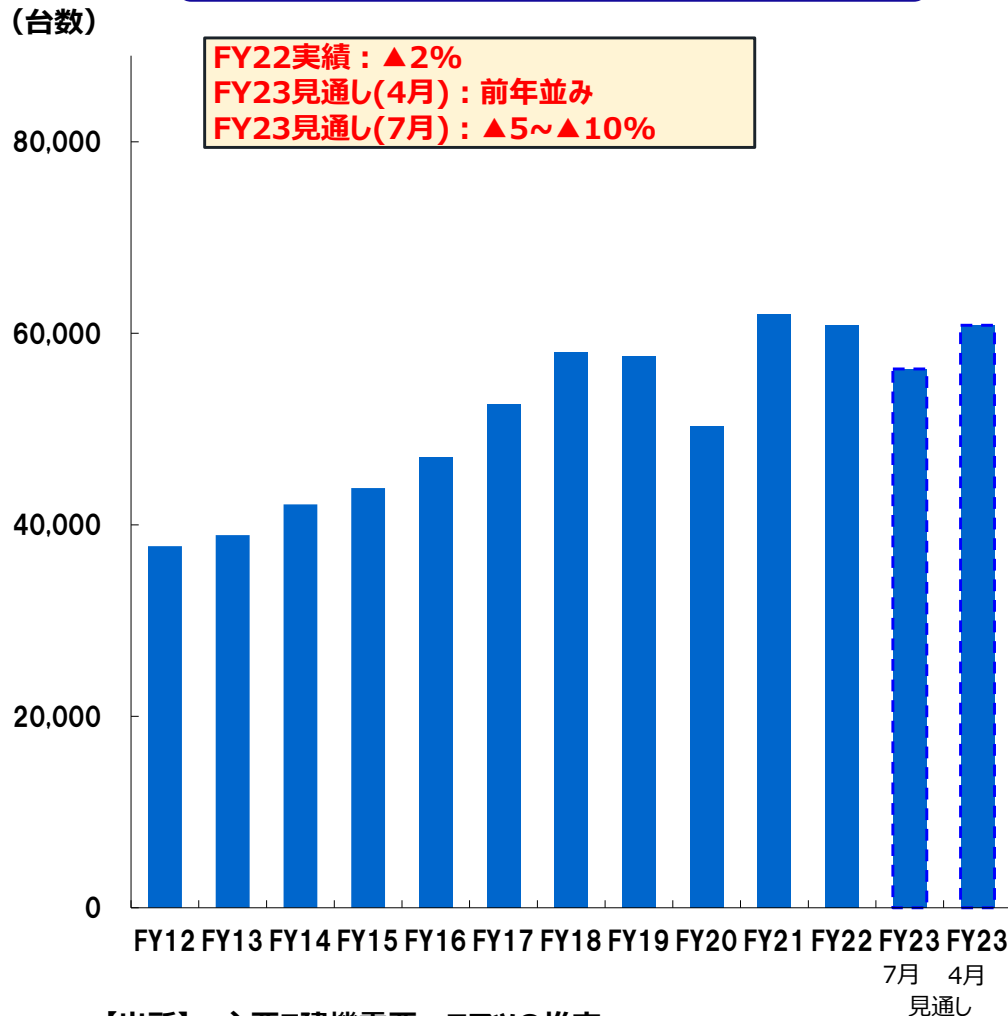
Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



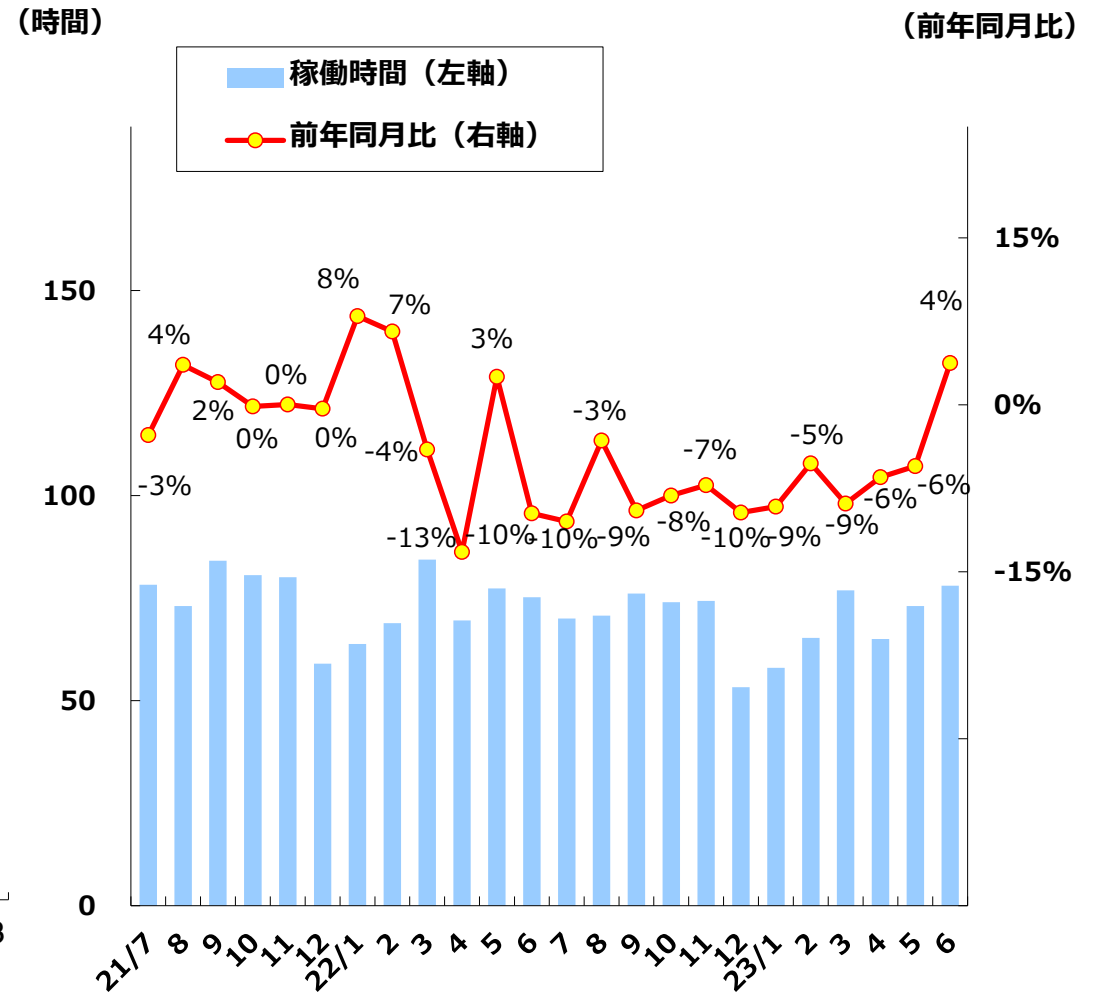
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：③ 欧州

- ・2023年度第1四半期の需要は、前年同期比▲5%の減少。急速な金利上昇と持続的な高インフレ等による影響で、ドイツ、英国、フランスを中心に需要が減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し（4月見通しより変更）。

主要7建機 年度別需要推移



Komtrax（欧州） 月平均稼働時間推移



坑内掘りハードロック向け鉱山機械事業の取り組み

- 商品ラインナップの拡充と坑内ソリューションの技術・ノウハウ獲得により、更なる成長を目指す。
- 気候変動への意識の高まりや環境問題の深刻化に対応するため、新商品とともに新工法を開発。

<新商品開発スローガン>

「No Blasting」

発破の必要がない掘削

「No Batch」

バッチ処理を行わない連続掘削

「No Diesel」

ディーゼル不使用

鉱山機械ラインナップの拡充

～ドイツGHH社の買収～



GHH社の坑内掘りダンプトラック

デジタルソリューション技術の獲得

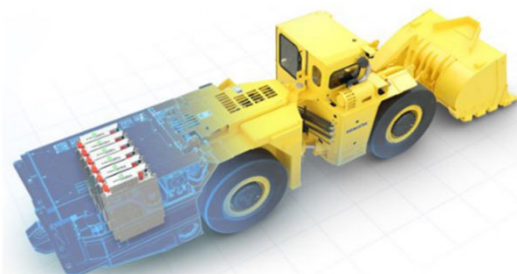
～豪州マインサイトテクノロジーズ社の買収～



坑内掘り鉱山向けの通信システムと
坑内測位・近接検知ソリューション

既存製品における ダントツ商品開発・電動化

～米国プロテラ社との協業契約を締結～



プロテラ社リチウムイオンバッテリー
搭載のLHDのイメージ

KOMATSU

岩盤掘削新工法実現のための 新たなチャレンジ

～メカニカルカッターMC51トライアル実施中～



Vale社のGarson Nickel Mine(カナダ)
のほか、顧客現場でトライアル実施中

坑道掘削新工法実現のための 新たなチャレンジ

～チリ国営のコデルコ社とのマイニングTBMトライアル～



コデルコ社のチュキカマタ鉱山(チリ)
でトライアル開始予定(FY25以降)

オンライン会社説明会